

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>埼玉高速鉄道線支援事業</b>			予算額	<b>545,800</b>
局/部/課	政策局/東部地域・鉄道戦略室			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 85	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 交通対策費	要求	545,800
<事業の目的・内容> 埼玉高速鉄道株式会社の経営安定化を図るため、経営状況を確認しながら、平成22年度から平成31年度まで、県及び川口市と共同で経営支援を行います。				財政局長	545,800
				市長	545,800
				査定区分	A
				前年度予算額	548,900
				増減	△ 3,100
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	<b>地下鉄7号線延伸促進事業</b>			予算額	<b>28,137</b>
局/部/課	政策局/東部地域・鉄道戦略室			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 85	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 交通対策費	要求	28,137
<事業の目的・内容> 地下鉄7号線の延伸については、平成26年度の採算性等の再算定に向け、地下鉄7号線延伸線基本計画調査(埼玉県と共同)を行うとともに、浦和美園～岩槻地域における移動実態調査を行います。また、延伸の機運を高める活動等を行う全市的な団体に対して支援を行います。				財政局長	28,137
				市長	28,137
				査定区分	A
				前年度予算額	28,557
				増減	△ 420
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	<b>浦和美園・岩槻地域間成長発展事業</b>			予算額	<b>53,681</b>
局/部/課	政策局/東部地域・鉄道戦略室			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 85	2款 総務費	1項 総務管理費	13目 交通対策費	要求	72,500
<事業の目的・内容> 浦和美園～岩槻地域の成長・発展を図るため、情報発信拠点施設の設置、まちづくり勉強会の開催、快速バスの運行等、開発や交流を促進する各種方策を戦略的に展開します。				財政局長	53,681
				市長	53,681
				査定区分	C
				前年度予算額	0
				増減	皆増
査定の考え方	事業手法、実施時期・箇所等事業内容を精査しました。				
事務事業名	<b>企画調整事務事業</b>			予算額	<b>21,118</b>
局/部/課	政策局/政策企画部/企画調整課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	21,178
<事業の目的・内容> 政策局の筆頭課となる企画調整課が所掌する事務事業が円滑に行われるようにするとともに、本庁舎整備審議会の開催、スマートウェルネスシティ構想の研究等を推進します。				財政局長	20,868
				市長	20,868
				査定区分	B
				前年度予算額	11,413
				増減	9,705
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>広域行政推進事業</b>			予算額	1,447	
局/部/課	政策局/政策企画部/企画調整課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	1,447	
<事業の目的・内容> 様々な行政課題に対応していくため、国・県・政令指定都市等と連携し、広域行政を積極的に推進します。				財政局長	1,447	
				市長		1,447
				査定区分	A	
				前年度予算額	474	
				増減	973	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	<b>自治基本条例制定事業</b>			予算額	事務事業の整理・統合に伴い移管	
局/部/課	政策局/政策企画部/企画調整課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. -	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	250	
<事業の目的・内容> 本市の自治の基本理念や市政運営の基本的事項等を定める自治基本条例の制定に向けて、様々な市民参画の手法を活用しながら検討を進めます。				財政局長	250	
				市長		250
				査定区分	A	
				前年度予算額	5,272	
				増減	-	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	<b>合併振興基金積立金</b>			予算額	12,000	
局/部/課	政策局/政策企画部/企画調整課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	12,000	
<事業の目的・内容> 合併振興基金の運用から生じる預金利子により、市民の連帯強化や一体感の醸成、地域振興のための事業展開を図ります。				財政局長	12,000	
				市長		12,000
				査定区分	A	
				前年度予算額	12,000	
				増減	0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	<b>庁舎整備基金積立金</b>			予算額	507,419	
局/部/課	政策局/政策企画部/企画調整課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	1,008,919	
<事業の目的・内容> 庁舎の更新の時期に備え、庁舎(本庁舎又は区役所)整備に必要な経費の財源に充てるため、基金への積立てを行います。				財政局長	507,419	
				市長		507,419
				査定区分	D	
				前年度予算額	505,914	
				増減	1,505	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>総合振興計画策定事業</b>			予算額	<b>37,067</b>		
局/部/課	政策局/政策企画部/企画調整課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	39,845		
<事業の目的・内容> 市政運営の最も基本となる総合振興計画のうち、基本構想に基づき、各行政分野における施策を総合的、体系的に示す次期基本計画(計画期間(予定):平成26~32年度)を策定します。 また、次期基本計画に定める施策を展開するため、個別の具体的な事業を定める次期実施計画についても併せて策定します。				財政局長	37,067		
				市長		37,067	
				査定区分	B		
				前年度予算額	26,565		
				増減	10,502		
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。						
事務事業名	<b>さいたま新都心第8-1A街区整備促進事業</b>			予算額	<b>66,209</b>		
局/部/課	政策局/政策企画部/企画調整課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	66,209		
<事業の目的・内容> さいたま新都心第8-1A街区は、さいたま赤十字病院と県立小児医療センターを移転し、一体的な整備に向け、取組を進めます。 また、街区の基本コンセプトである「安心・安全」をより一層高める機能として、保育機能・子育て支援機能の設置を進めます。				財政局長	66,209		
				市長		66,209	
				査定区分	A		
				前年度予算額	6,299		
				増減	59,910		
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。						
事務事業名	<b>情報システム最適化事業</b>			予算額	<b>72,659</b>		
局/部/課	政策局/政策企画部/I T政策課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	72,659		
<事業の目的・内容> 情報システムの業務プロセスを標準化し、効率的な情報システムの構築・運用を進め、情報システム経費の適正化を図るとともに、情報セキュリティ研修や監査の継続的な実施により、情報セキュリティの強化を推進します。また、「第三次さいたま市情報化計画」に基づき、電子市役所の構築等、市民サービスの充実に取り組みます。				財政局長	72,659		
				市長		72,659	
				査定区分	A		
				前年度予算額	80,614		
				増減	△ 7,955		
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。						
事務事業名	<b>情報化推進事業</b>			予算額	<b>3,995,641</b>		
局/部/課	政策局/政策企画部/情報システム課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	3,997,561		
<事業の目的・内容> 政令指定都市にふさわしい行政運営の効率化や質の高い市民サービスの提供を行うことを目的として、情報システムの効率的・安定的な管理運用を行います。				財政局長	3,982,016		
				市長		3,982,016	
				査定区分	B		
				前年度予算額	3,653,753		
				増減	341,888		
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。						

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>政策調査事務事業</b>			予算額	<b>22,850</b>		
局/部/課	政策局/都市経営戦略室			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	14,742		
<事業の目的・内容> 指定都市市長会、九都県市首脳会議や全国市長会、埼玉県市長会等と連携し、地方分権や大都市制度等について、国や県に対して本市の意見を積極的に発信します。				財政局長	14,742		
				市長		13,742	
				査定区分	A		
				前年度予算額	15,524		
				増減	7,326		
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。 なお、シティーセールスを充実させるため、一部経費を充てました。						
事務事業名	<b>東京事務所管理運営事業</b>			予算額	<b>9,744</b>		
局/部/課	政策局/東京事務所			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	9,744		
<事業の目的・内容> 市の政策立案、施策・事業の推進及び市政の発展に寄与するため、市政に関連する情報の収集、国会、各省庁その他関係機関との連絡調整を行うとともに、市の都市イメージや存在感を高めるPRを実施します。				財政局長	9,744		
				市長		9,744	
				査定区分	A		
				前年度予算額	10,229		
				増減	△ 485		
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。						
事務事業名	<b>さいたまの魅力発信事業</b>			予算額	<b>7,600</b>		
局/部/課	政策局/東京事務所			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 89	2款 総務費	2項 企画費	1目 企画総務費	要求	7,600		
<事業の目的・内容> 都市PRイベントを開催すること等により、都市ブランドの向上や誘客促進に資するシティーセールスに取り組みます。				財政局長	6,600		
				市長		7,600	
				査定区分	A		
				前年度予算額	5,122		
				増減	2,478		
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。						

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。